

令和8年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	23	学校名	大垣東高等学校
------	----	-----	---------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	文武両道を実践し、総合的な人間力を培う高校として 主体的な学びを重視した授業や企業、大学等との積極的な連携を通して グローバル社会に求められる資質や能力を備え、広く社会に貢献できるリーダーの育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	社会のリーダーを目指すにふさわしい人間を育てる。 (1) 学問を尊ぶ気風を培い、高い学力を身に付けさせる。 (2) 文化を尊重し、部活動や学校行事等への主体的な取組を通して、豊かな人間性を身に付けさせる。 (3) 生活規律を確立させる。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	・高校段階の確かな学力を身に付け、更なる高い志をもち、自らが設定した目標の達成のために粘り強く努力することができる生徒 ・日本文化への深い造詣と地球規模の広い視野をもち、他者への共感とともに多様な価値観や考えを受け入れ、協働して課題を設定し、その解決に取り組むことができる生徒 ・真善美という崇高な理想を掲げ、人格の陶冶をめざして生涯にわたって学び続けることができる生徒	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	・基礎学力の定着を徹底し、自ら考え、判断し、表現できる力を高めるための指導及び個に応じたきめ細かい支援の実施 ・自己肯定感を育むとともに、適切かつ時宜を得た課題の提示と働きかけに基づいた、生徒が主体性を発揮するための教育活動の展開 ・人間探究を基礎とした、様々な分野の研究を通して、世界中の人たちと共に主体的で対話的な深い学びを実践する中で、コミュニケーション力や洞察力、創造力、挑戦力等を育むための課題解決型の学習の推進	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	・将来に対する高い目標をもち、進路実現に向けて授業を大切にするとともに、部活動・生徒会活動・学校行事等にも積極的に参加しようという意欲のある生徒 ・善悪を正しく判断し、規則を守ることができるとともに、自他の命や権利を大切に、仲間と支え合いながら豊かな人間関係を構築しようとする意欲のある生徒 ・「世界をよりよくしたい」という大きな信念を抱き、様々な社会課題に対する興味・関心をもち、自ら課題を見つけて最後まで取り組む意欲のある生徒	
学校の抱える課題	・公開授業、職員研修会の意義を全職員が意識し、生徒が主体的に活動でき、それが学習の理解に繋がる授業改善が必要である。 ・生徒自身が自らにとって価値ある情報を見極め、広い視野をもって進路決定ができるような力を育てることが必要である。 ・不注意による遅刻が多く、時間に余裕をもった行動ができない生徒もいるため、落ち着いた雰囲気で学校生活を始められるよう声掛けが必要である。 ・部活動、ボランティア活動、学校行事等で、生徒が主体的かつ創造的に取り組む場をできるだけ多く創出することとその指導が必要である。		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	・高校生としての基礎的・基本的な知識や技能の習得を図り、主体的な学習態度を育成する。 ・思考力・判断力・表現力及び自ら主体的に学ぶ意欲、学ぶことの意義を理解させ、学びの喜びが感じられるよう、教師一人一人が積極的に授業改善に取り組む。	
	進路指導	・一人一人の生徒がキャリア教育等を通した進路希望を実現できるよう指導に努める。 ・自己を正しく理解し、自らの在り方生き方を考え、主体的に進路選択・決定ができるよう様々な機会を捉え推し進める。	
	生徒指導	・指導の方針や基準を明確にし、教職員の共通認識のもと学校の教育活動全体を通じて積極的な生徒指導を展開する。 ・自他の生命の尊さや権利を認め合い、一人一人が生きがいをもち、心豊かな学校生活を送れるよう支援する。	
	特別活動	・生徒会活動、部活動等の活発化・充実化を推進し、生徒の主体性とリーダーシップを伸ばす。 ・社会の一員として自主的、実践的な態度を育て、自己を生かす能力を養う。	
教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施	・長時間勤務と多忙化の解消に向け、早く家庭に帰る日（8のつく日）の徹底や、業務内容の不断の見直しを行う。 ・ハラスメントとメンタル不調を速やかに察知し、解決を図る。		

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	①授業改善を積極的に推進し、分かりやすい授業の実施に努める。	施策Ⅱ-8	(1)公開授業の実施率				
	②生徒の多目的教室（自習室）の積極的な活用、チャレンジ講座等の放課後・土曜日の補習授業の充実を図る。	施策Ⅳ-23	(2)生徒及び保護者を対象とするアンケートの結果 (3)理数科課題研究報告会を通した外部からの評価				
	③科学的な思考力、創造力を社会に還元できる豊かな人間性と実行力をもった生徒、グローバル社会に求められる国際的な視野をもった生徒を育成する。	施策Ⅱ-10 施策Ⅱ-11	(4)ベトナム短期研修報告会を通した外部からの評価				
進路指導	①スタディサブリの活用推進とチャレンジ講座等の補習授業の充実を図る。	施策Ⅳ-23	(1)生徒及び保護者を対象とするアンケートの結果 (2)保護者等を対象とする授業アンケートの結果 (3)理数科課題研究報告会を通した外部からの評価				
	②3年間を見通した進路シラバスを提示し、ホームルーム活動と総合的な探究の時間を連携させた計画的、組織的な指導を実践する。	施策Ⅱ-8					
	③生徒一人ひとりが自ら考え納得できる進路選択ができるよう、担任を中心にあらゆる場面や機会を活かし、きめ細やかな懇談を実施する。	施策Ⅱ-8					
	④理数科では、課題研究等の学びや経験を活かした進路選択ができるよう計画的かつ緻密な懇談を実施する。	施策Ⅱ-10					
生徒指導	①命を考える講話や、学校行事などの機会を通じて、他者を思いやり、社会性を育む心を育てる。	施策Ⅰ-1	(1)諸活動の実施状況 (2)生徒及び保護者を対象とするアンケートの結果 (3)様々な場面においての迅速な対応状況				
	②東高生として自覚と誇りをもって制服を着こなし、社会のリーダーを目指すにふさわしい人間を育てる。	施策Ⅱ-8					
	③年3回ずつの個別面談と諸調査の分析を、教員間で共有し、いじめの未然防止と不登校の早期対応を図る。	施策Ⅰ-3					
	④落ち着いた雰囲気で学校生活をおくるために、時間に余裕をもって行動することで、交通マナーの向上と交通事故防止を図る。	施策Ⅲ-19					
特別活動	①生徒会活動を活発化し、学校行事等を自主的に企画・運営する。	施策Ⅳ-20	(1)各行事の、職員、生徒及び参加された保護者へのアンケートの結果 (2)生徒及び保護者から寄せられた声 (3)外部諸団体、学校関係者から寄せられた声				
	②ホームルーム活動・部活動において、集団生活への適応を図るとともに、人間関係の醸成、集団における協力の態度を育てる。	施策Ⅳ-25					
	③広報活動を充実して、ボランティア活動など地域の活動に積極的に参加を促し、思いやる心、進んで奉仕する心をもつ生徒の育成に努める。	施策Ⅰ-1					

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和9年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和9年 月 日